

各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

平成 27 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号を送付します。

---

平成 27 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

- 1 病害虫名 トマト葉かび病菌レース 4.9 *Passalora fulva* (Cooke) U. Braun & Crous
- 2 発生物種 トマト
- 3 発生経過

平成 27 年 1 月、高知県内の施設トマトにおいて、葉かび病抵抗性品種（抵抗性遺伝子 *Cf-9*）である「CF 桃太郎ファイト」に葉かび病の発生が確認された。罹病葉から分離した菌株について国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所にレース検定を依頼したところ、本県では未確認のレース 4.9（抵抗性遺伝子 *Cf-4*、*Cf-9* を持つ品種を侵す菌株）であることが判明した。

なお、抵抗性遺伝子 *Cf-9* を持つ品種を侵すレースは、これまでに福島県をはじめとする 14 都県から発生が報告されている。

- 4 病徴

本病は葉の表面に不鮮明な淡黄色の小斑点を生じ、裏面に灰黄色～緑褐色のピロート状のかびを密生する（写真 1、2）。病斑が拡大すると、菌そうも灰褐色から灰紫色に変わる。通常、下葉から発生し、しだいに上葉にまん延し病勢が進むと葉は枯死する。

これまでに、国内では 13 種類のレースが報告されているが、異なるレースであっても病徴は同様である。

病徴はすすかび病と類似するため（写真 3、4）、判別の際は顕微鏡下で分生子を観察することが望ましい（写真 5、6）。

- 5 防除対策

- （1）葉かび病抵抗性品種（CF 桃太郎ファイト等）を栽培しているほ場でも、葉かび病が発生する恐れがあるため、発生に注意し、早期防除に努める。
- （2）多湿条件や肥切れ等による生育不良は発病を助長するため、適切な湿度管理および肥培管理を行う。
- （3）多発すると防除が困難となるので、初期防除に努め、薬剤は葉裏にもかかるよう十分に散布する。

なお、薬剤の感受性低下を防ぐため、防除指針を参照し、同一系統の薬剤の連用を避け、他系統の剤によるローテーション散布を行う。

お問合せは、環境農業推進課（TEL：088-821-4861）または病害虫防除所（TEL：088-863-1132）まで



写真1 葉かび病の症状(葉表)



写真2 葉かび病の菌そう(葉裏)



写真3 すすかび病の症状(葉表)



写真4 すすかび病の菌そう(葉裏)



写真5 葉かび病菌の分生子



写真6 すすかび病菌の分生子